

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 6 日 (2022.1.6)

【公開番号】特開 2020-86227 (P2020-86227A)

【公開日】令和 2 年 6 月 4 日 (2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報 2020-022

【出願番号】特願 2018-222445 (P2018-222445)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/08 3 2 2 C

G 0 3 G 21/00 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 25 日 (2021.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

現像器内相対湿度検出器 3 0 0 1 は、現像器 1 0 0 内の相対湿度を検出する。一般に、現像器 1 0 0 内の相対湿度が変化すると、現像器 1 0 0 内のトナーの帯電量が変化し、現像工程で消費されるトナー量が変化する。したがって、現像器 1 0 0 内の相対湿度に従って誤差補正を行う必要がある。現像器内相対湿度は、現像器内相対湿度検出器 3 0 0 1 が現像器 1 0 0 内の相対湿度を直接検出した検出値であってもよく、現像器 1 0 0 の内部とは別の部位の温湿度にまつわる検出値から計算される計算結果であってもよい。本実施形態では、相対湿度検出手段としての現像器内相対湿度検出器 3 0 0 1 は、現像器 1 0 0 の周辺の相対湿度を検出し、検出結果に基づいて現像器内相対湿度を算出する。現像器内相対湿度検出器 3 0 0 1 は、現像器 1 0 0 又は別の構成要素の一つ又は複数設けられていてもよい。現像器内相対湿度検出器 3 0 0 1 によって検出された現像器内相対湿度は、誤差補正部 2 1 0 9 へ入力される。誤差補正部 2 1 0 9 は、現像器内相対湿度を所定期間分平均し、現像器内相対湿度の平均値  $X_7$  を算出する。